

## 令和4年度 微生物学教科担当教員会議

日時：令和5年3月26日（日）12：30～13：30  
場所：北海道大学保健科学院 D301（薬学会年会 HS2 会場）

講演：

和歌山県立医科大学 平田收正 先生  
演題「改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラムに沿った大学における  
カリキュラムの在り方についてー衛生薬学を取り上げてー」

黒田 照夫先生（広島大学）の司会で議事進行が行われた。  
講演演者の平田先生の到着が13時以降となったため、順番を入れ替え、先に議事を進行し、平田先生の講演を後半に行っていた。

議題

1. 令和5年度微生物学教科担当教員会議事務局について  
広島大学 黒田照夫 先生

黒田先生より報告があり、令和5年度の事務局は星薬科大学の築地信先生が担当されることが了承された。築地先生からあいさつの言葉が述べられた。

2. 教科担当教員中央会議について  
広島大学 黒田照夫 先生

前回（令和4年5月28日オンライン開催）の教員会議で既に報告したので、詳細については割愛された。

3. 微生物シンポジウムについて  
愛知学院大学 河村好章 先生

- 令和4年度 第34回微生物シンポジウム報告  
慶應義塾大学 金倫基 先生
- 令和5年度 第35回微生物シンポジウム案内  
岡山大学 垣内力 先生
- 令和6年度 第36回微生物シンポジウムについて

河村好章先生（愛知学院大学）の進行にて令和4年度シンポジウムにつき報告があった。また令和5年度シンポジウム開催について添付のチラシとともに垣内力先生（岡山大学）から説明があった。さらに令和6年度については中南秀将先生（東京薬科大学）が担当されることが提案され、了承された。

4. 生物系薬学部会冠付きシンポジウムの実施について

愛知学院大学 河村好章 先生

河村好章先生より、主旨説明が行われ、了承された。この冠付きシンポジウムは、シンポジウムへの先生方の自由な申請を妨げるものではなく、最低でも必ず一つはこの教員会議主導でシンポジウムを開催するというものであり、実際の選定については執行部の先生と協議をして進めることが述べられた。初回については特に申し出がなければ杉田隆先生（明治薬大）と河村先生で提案をするという申し出があった。

5. 教育に関して

同志社女子大学 川崎清史 先生

報告事項は特になかった。

6. 研究に関して

北陸大学 大黒徹 先生

岡山大学 垣内力 先生

報告事項は特になかった。併せて黒田先生より、今後の教員会議の活動においては細菌だけではなくウイルスや真菌、寄生虫の分野も幅広く取り入れることが必要であるという趣旨の発言があった。

7. 共用試験に関して

広島国際大学 山中浩泰 先生

報告事項は特になかった。山中先生より、もし何か情報があったらご連絡いただきたいという発言があった。

8. その他